

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公開番号】特開2002-184103(P2002-184103A)

【公開日】平成14年6月28日(2002.6.28)

【出願番号】特願2000-383597(P2000-383597)

【国際特許分類】

<b>G 1 1 B</b>	<b>20/10</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 1 1 B</b>	<b>20/12</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 0 4 N</b>	<b>5/765</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 0 4 N</b>	<b>5/781</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 0 4 N</b>	<b>5/937</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

G 1 1 B	20/10	3 0 1 Z
G 1 1 B	20/10	A
G 1 1 B	20/12	
H 0 4 N	5/781	5 1 0 L
H 0 4 N	5/91	L
H 0 4 N	5/93	C

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 循環して情報信号の記録及び再生が為されるリングバッファ領域と永続的に情報信号が保存される保存領域とを記録媒体上に形成させる情報記録再生装置であつて、

前記記録媒体上における前記リングバッファ領域の存在位置を示す存在位置情報が記憶されているメモリと、

前記メモリに記憶されている前記存在位置情報に基づいて前記リングバッファ領域内において情報記録及び再生を行う記録再生制御手段と、

消去操作に応じて、前記保存領域に記録されている前記情報信号の内から消去対象となつた情報信号を消去すべき消去指令信号を発生する操作手段と、

前記消去指令信号に応じて、前記消去対象となつた情報信号が記録されていた領域をリングバッファ領域とすべく前記消去対象となつた情報信号の存在位置を前記メモリに追加記憶せしめるリングバッファ領域拡張手段と、を有することを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項2】 前記消去操作に応じて前記リングバッファ領域の拡張を行うか否かの選択を促す拡張選択操作画面を表示せしめるべき画像信号を生成する操作画像信号生成手段を備え、

前記リングバッファ領域拡張手段は、前記操作手段によって前記リングバッファ領域の拡張を行うべき選択操作が為された場合に限り前記消去対象となつた情報信号の存在位置を前記メモリに追加記憶せしめることを特徴とする請求項1記載の情報記録再生装置。

【請求項3】 循環して映像信号の記録及び再生が為されるリングバッファ領域と永続的に映像信号が保存される保存領域とを記録媒体上に形成させる情報記録再生装置であ

つて、

前記記録媒体上における前記リングバッファ領域の存在位置を示す存在位置情報が記憶されているメモリと、

前記メモリに記憶されている前記存在位置情報に基づいて前記リングバッファ領域内において記録及び再生を行う記録再生制御手段と、

消去操作に応じて、前記保存領域に記録されている前記映像信号の内から消去対象となつた映像信号を消去すべき消去指令信号を発生する操作手段と、

前記消去指令信号に応じて、前記消去対象となつた映像信号が記録されていた領域をリングバッファ領域とすべく前記消去対象となつた映像信号の存在位置を前記メモリに追加記憶せしめるリングバッファ領域拡張手段と、を有することを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項4】 前記消去操作に応じて前記リングバッファ領域の拡張を行うか否かの選択を促す拡張選択操作画面を表示せしめるべき画像信号を生成する操作画像信号生成手段を備え、

前記リングバッファ領域拡張手段は、前記操作手段によって前記リングバッファ領域の拡張を行うべき選択操作が為された場合に限り前記消去対象となつた前記映像信号の存在位置を前記メモリに追加記憶せしめることを特徴とする請求項3記載の情報記録再生装置。

【請求項5】 前記リングバッファ領域拡張手段によって領域拡張された後の前記リングバッファ領域内での連続録画可能時間を算出する連続録画可能時間算出手段を備え、

前記操作画像信号生成手段は、前記連続録画可能時間を知らせる連続録画時間通知画面を表示せしめるべき画像信号を生成することを特徴とする請求項4記載の情報記録再生装置。